


## 海事分野における星野二郎氏のご功績

氏名又は 団体名称	ほしの じろう <b>星野 二郎</b>	年齢	82	
所属	三井造船(株)元社長			
功績の概要	<b>造船技術の高度化による海洋技術の発展</b>			

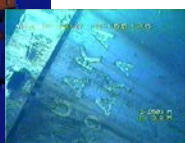
### 功 績 事 項

1. 我が国初の深海無人探査機「ドルフィン3K」、世界で唯一地球最深部（水深10,000m以上）まで潜行可能な無人探査機「かいこう」を開発・建造したほか、東京大学と共同で4,000m級自立型海中ロボット「r2D4」を開発・建造した。これら技術開発の成果は、超深海生物等の調査研究の進展や、深海事故調査技術（ナホトカ号、H-2A ロケット部品捜索に活躍）の進展をもたらし、社会的にも海に対する大きな注目を集めた。

3300m級深海無人探査機  
「ドルフィン3K」



ナホトカ号沈没部  
(水深2500m)



1万m級深海無人探査機  
「かいこう」



自立型海中ロボット  
「r2D4」



2. テクノスーパーライナー（TSL）の開発に当たっては三菱重工業（株）と共同で空気圧力式複合支持船型の研究開発を強力に推進し、大型実海域実験船「飛翔」は50ノット以上の速力を実証、高速海上輸送システムの確立に主導的役割を果たした。
3. また、海洋レジャー技術の開発、海洋資源開発技術の開発にも取り組み、我が国初の半潜水型海中展望船やFPSO（浮体式石油生産・貯蔵・積出設備）を開発・建造した。

テクノスーパーライナー  
「飛翔」



FPSO  
「Kerr-McGee Global Producer III」



4. これらにより、我が国の海洋調査・開発技術を世界最高レベルに引き上げ、青少年に海洋技術についての夢を与え、また、造船業から海洋産業への新たな発展の礎を築いた。